

会 議 議 事 録

1. 日時等

日時	令和7年7月29日(火) 10:00~11:30
場所	白石町役場 3階大会議室
会議名	令和7年度 第1回白石町地域公共交通会議

2. 出席者

所属等	役職等	出欠
白石町	町長	○
白石町	副町長	○
白石町駐在員会	会長	○
白石町駐在員会	副会長	○
白石町駐在員会	副会長	○
白石町老人クラブ連合会	副会長	○
白石町民正児童委員協議会	民生委員児童委員	○
佐賀県立白石高等学校	副校長	○
佐賀県立佐賀農業高等学校	教頭	○
白石警察署	交通課長	代理
一般貸切（乗用）旅客自動車運送事業者 一般旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転者	（有）錦タクシー取締役	○
一般乗合旅客自動車運送事業者	祐徳自動車（株）乗合バス部長	×
九州運輸局佐賀運輸支局	主席運輸企画専門官	○
佐賀県交通政策課	地域交通システム室係長	代理
佐賀県杵藤土木事務所	管理課管理第二担当係長	○
（一社）佐賀県 バス・タクシー協会	専務理事	○
（福）白石町社会福祉協議会	事務局長	○
白石町	建設課長	○



写真 交通会議の実施状況

3. 開会

○開会にあたり会長よりご挨拶をいただいた。

会長	本日、皆様方には大変お忙しい中に、白石町地域公共交通会議にご出席をいただきまして誠にありがとうございます。また、委員の皆様方には日頃から町政全般に渡って多大なご協力をいただいておりますことに対しましても、深く感謝申し上げますところでございます。 地域公共交通会議は、昨年度末に新たに法定協議会として位置付けられ、地域公共交通計画の策定を行うために設置されました。本会議につきましては、地域の公共交通を利用しやすい交通手段となるよう見直し、また将来に渡って町民の皆様の移動手段の確保・維持を検討していく重要な組織として位置づけをしている会議となっております。 いこカー・予約制いこカーは平成 17 年から運行開始し、交通弱者を始めとする町民の身近な移動手段となっています。本日の議題としては、コミュニティタクシーやあいのりタクシーの現状報告、また今後の課題である町内交通の利便性向上や維持・存続に関する会議内容となっております。皆様最後までご審議のほどよろしくお願い致します。
----	--

4. 議題

○事務局より以下の事項について説明を行い、その内容について質疑を行った。

(1) 報告第 1 号：白石町コミュニティタクシーの運行状況について

委員	交通会議に参加して 3 年になるが、コミュニティ交通のルート変更の話が出たことがないため、ルートの変更を検討してほしい。例えば、老人クラブへアンケートを行って、通過してほしいルートを検討するのはどうか。横手地区の大井停留所が最寄りになるが、公共交通の運行本数は 1 時間に 1 本程度であり、公共交通の恩恵を受けていない地域である。病院に行く際は、自分で運転する、または家族に送迎してもらっており、タクシー代を出して病院に行ける人は少ない。自分で運転して病院まで行く 90 歳の方や免許返納を迷う年齢の方が送迎している場合もある。病院への移動に困っている人を拾う形で運行してほしい。
事務局	定時定路線の交通空白地域を補填するために予約制いこカーを運行している状況ではあるが、住民の皆様から同様の意見を頂いている。そのため、今年度、地域公共交通計画の策定に当たって、コミュニティ交通の見直しを行い、町民が利用しやすい公共交通を検討していきたいと考えている。
事務局	高齢者は、定時定路線の停留所まで歩いて行かれるのも大変だと認識している。そのため、予約制いこカーを利用していただきたい。高齢者の負担軽減のため、特に病院等の停留所は維持する方向で検討していきたいと考えている。地域公共交通計画の策定に際し、皆様の意見を伺いながらより良い公共交通を検討していきたい。

(2) 報告第 2 号：白石町地域公共交通会議予算の流用について

—	特になし
---	------

(3) 議案第 1 号：白石町コミュニティタクシーの停留所の廃止、新設、変更について

委員	自宅近くを運行している路線がないというのが問題だと思っている。通院されている老人の家や公共交通を必要としている人数を把握して、そこを運行するような路線を整備してほしい。将来的には公共交通が必要となる方が増えると思う。
委員	いこカーの牛間田横手線は、牛間田から肥前白石駅まで運行しているが、運行時間帯によっては巡回という考え方が可能なのかお聞きしたい。通学のための便や通院のための便など幅広く使ってもらうためには時間帯に応じた運行ルートの検討も必要だと考える。
事務局	定時定路線運行の巡回という考え方はある。議案第 2 号において、詳細の分析結果をお示ししているため、後程ご説明させていただく。
会長	議案第 1 号は、承認多数により、承認された。

(4) 議案第 2 号：白石町地域公共交通計画の策定に係る内容協議について

委員	いこカー牛間田横手線の第 1 便は、平均 4.5 人乗車されている。いこカーと予約制いこカーでは、車両サイズが異なるため、いこカーの廃止に伴って、乗車できない学生が出てくる懸念がある。そこはスクールバスと一体的に検討される認識で良いか。
事務局	いこカー牛間田横手線を利用している学生については、令和 8 年 4 月の有明小学校の新設に伴い、スクールバスでの送迎を検討している。そのため、いこカー平均利用者はさらに減少すると考えている。
委員	多様な交通モードの連携強化を目標などに挙げているため、スクールバスへの児童以外の同乗などについても検討されているのかお聞きしたい。
副会長	スクールバスについては、詳細は議論できていない。今後、スクールバスの活用についても併せて検討していく。
委員	あいのりタクシーの運行経路変更後は、江北町との連携も検討されているのかお伺いしたい。
事務局	あいのりタクシーの江北町への乗り込みについては、事前にお伺いは行っているが、江北町と連携については、今後の協議の中で進めていきたいと考えている。
委員	多様な主体が移動サービスを支える仕組みの検討の中で、荷物だけを運ぶ貨客混載は検討されているのか。検討されているのであれば、協議会で協議を行っておくことで円滑に進むと考える。
事務局	現時点、貨客混載は検討していない。あくまでの人員の輸送を中心に考えている。また、補足ではあるが、現在の予約制いこカーは交通事業者の協力により、受付締切時間が比較的短く、利便性は悪くないものと認識している。しかし、他都市の導入事例や人口規模を勘案すると、今の倍程度は利用が見込めると考えている。まずは、そういった人の利便性高めながら、上手く輸送できるかを中心に考えているところである。

委員	利便性の向上とコストバランスの最適化を図ると記載されているが、1人当たりの財政負担額について目標とする金額やラインがあればお聞きしたい。
事務局	コミュニティ交通の見直しについては、財政負担額の話も要因としてある。令和4年時点では町の財政負担額が2000万円程度であったが、近年急激に増加傾向にあるため、交通計画を策定し、持続可能な公共交通の検討を行っているところである。近年の物価高騰等もあるなか、今までは2000円/人を基準に検討していた。
委員	あいのりタクシーの具体的なルートを教えてほしい。
事務局	ルートの詳細については今後検討してくため、次回協議会でお示しさせていただく。特にあいのりタクシーは、江北町と連携可否によって変化していく部分となっている。
委員 (代理)	あいのりタクシーの買い物利用者が多くいになっているが、予約制いこカーで対応していく認識で良いか。
事務局	買い物利用者は基本的に予約制いこカーに転換していくことを考えている。例えば、通勤・通学の移動需要や一定数の利用が見られる場合は、定時定路線での運行を検討していく必要があると考えている。
会長	議案第2号は、承認多数により、承認された。

5. その他

- （一社）佐賀県バス・タクシー協会_委員：タクシー・バスの乗務員を募集するパンフレットを作成している。公共交通サービスを守るためにも広報にご協力いただきたい。
- 白石町駐在員会_委員：次回交通会議の日程等、予定が決まり次第、早めに教えていただきたい。
- （福）白石町社会福祉協議会_委員：資料は事前に送付いただきたい。
- 事務局：10月、1月、3月に交通会議を実施する予定である。10月は具体的な施策について協議、1月は計画書案の協議、2月はパブリックコメントの実施、3月は計画書最終案の確認を予定している。

6. 閉会

以 上